

# 議会

つなげろ

# だより

MARCH  
3

**12月第4回定例会 平成26年度補正予算等を審議**  
固定資産評価審査委員会委員に篠原保智氏を推薦

**「すぐやる課」による迅速な対応 ～沖縄県石垣市～**  
教育住民常任委員会 研修レポート



# 平成26年第4回定例会開催

## 平成26年度一般会計補正予算 2250万円追加

### 平国地区周辺交流拠点センター(仮称)建設基本 構想業務委託料など一般会計補正予算を可決

平成26年第4回定例会が、12月18日、19日の2日間で開催され、補正予算や条例改正、固定資産評価審査委員会委員の選任が上程されました。また、6人の議員が一般質問に立ちました。

#### 定例会初日の審議状況

定例会初日、平成二十六年補正予算等の審議が行なわれ、全て可決。固定資産評価審査委員会委員に篠原保智氏が全会一致で選任同意されました。



冒頭に挨拶する西川町長

#### 主な質疑概要

川野雄一議員

**問** 総務費に社会保障税の番号制度導入業務委託料として百三十三万九千円が計上されているがその内容は。

**答** 昨年五月二十四日に成立したマイナンバー法(全国民に個人番号を付番して、行政手続きにおける特定の個人を識別する為の番号の利用等に関する法律)に基づいて、二十七年一〇月に住民への個人番号の通知、二十八年一月に個人番号の利用開始、二十九年七月の自治体を含めた情報連携の開始に向けた業務の洗い出し作業を委託するものである。マイナンバーの利用範囲は、年金、労働、福祉、医療、介護、税、災害対策の分野等に利用される。

- 平成二十六年津奈木町一般会計補正予算の専決処分の承認
- 平成二十六年津奈木町一般会計補正予算
- 平成二十六年津奈木町国民健康保険事業特別会計補正予算
- 平成二十六年津奈木町後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 平成二十六年津奈木町簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成二十六年津奈木町介護保険事業特別会計補正予算
- 平成二十六年津奈木町恒久対策事業特別会計補正予算
- 平成二十六年津奈木町宅地造成事業特別会計補正予算
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 津奈木町国民健康保険条例の一部改正
- 津奈木町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

**問** 観光費に、水光社前のサイン看板撤去費として七十九万五千円が計上されて

いるが撤去の理由と、撤去後に新たなサイン看板設置の計画はあるのか。

**答** 撤去の理由は、看板設置箇所が水光社の出入口付近であり、交通事故等が発生している。また看板がわかりづらいということも一因である。新たな看板

板設置は津奈木インター併用開始に合わせて国道3号沿いの町有地に二十七年度で設置したいと考えている。



水光社津奈木店前サイン看板

### 本山勝三議員

**問** 機構集積協力金交付事業費補助金の内容と実績状況は。

**答** 本年度から始まった新しい事業で農業を辞められる方が、県の農地中間管理機構に農地をすべて預けて離農をすると、一時金として定額補助されるもので今年が初めての事業実施で五反まで三十万円である。

### 柳迫好則議員

**問** 西迫団地解体工事実施設計業務委託料とあるが、なぜ委託料が必要か。また、その後の利用は。

**答** 現在、補助事業により整備を進めており、解体費の算出を業者委託する関係が必要となるので、委託料を計上している。解体後は、さくら団地くらいの規模の団地を建設する計画である。

### 久村昌司議員

**問** 平国地区周辺交流拠点センター（仮称）建設基本構想業務委託料の内容は。

**答** 現在の平国コミュニティセンターの耐震問題と、たっしゅか塾のプレハブリース料の問題で二つを兼ね備えた新たなコミュニティ施設の建設が浮上し、新年度予算の補助金確保の為に、本年度中に基本設計を計上する予定である。

### 橋口知恵子議員

**問** 美術館費の備品購入費百三十六万千円はどういうものか。絵画購入理由と、レンタルはできないのか。

**答** 赤崎に五ヶ月間滞在された篠塚聖哉氏の絵画六点である。赤崎地区で湧いたイメージを基に制作されており、津奈木町で誕生した作品ということで、展覧会活動に利用したい。レンタルについては、困難と思われる。

### 村上義廣議員

**問** 平国地区周辺交流拠点センター（仮称）を建てる場所は何処を予定しているのか。

**答** 取り壊して建てるよりも、海側の方に新たに建てたほうが良いのではないかと考えている。

**問** 小学校の修繕費は白アりに食われた部分の修繕なのか。

**答** 津奈木小学校の白アりに食われた部分の補修工事、白アリ駆除は前回行っている。

**問** 今年度中に基本設計は出来るのか。

**答** 県から正式な文書が届き次第地区住民の方々と協議を行い、設計を作り上げていきたい。



たっしゅか塾（イメージ）

# 少子高齢化と地域防災力の 充実強化対策は



柳迫好則議員

**問** 少子化を解消するためには、どのような方策を考えておられるか。

**答** 保育の施設の充実や、子ども医療費や予防接種への医療費の助成、情報交換の場の提供、妊婦さんへの保健師等のアドバイスによるケアなど、いろいろなソフト事業に力を入れ、子育てをしながら、働く女性への支援を行いたい。

**問** 子育て支援のためには、若い人たちが雇用してもらえようような企業が必要だと思う。

企業誘致については、どのように考えておられるか。

**答** 企業誘致については、新たな企業誘致は難しいので、既存の水俣・芦北・八代にある企業の再投資を呼び込みながら雇用を増やしたい。

**問** 津奈木町でも、確実に高齢化が進んでいる。何年後には、半分余りの地区が限界集落になると思われる。このような現状を踏まえ、

どのように考えておられるか。

**答** 高齢化の進行に対して、本町独自の事業として、いつてみゆう会、地域見守り活動、たつしやか塾、津奈木楽しもう事業など、ソフト事業の充実を図りながら、高齢者の生きがいづくりに努めていく。

日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる健康寿命を延ばすように、今後も取り組んでいきたい。

**問** 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行された。東日本大震災の教訓や、新法成立の動きを生かしながら、今こそ消防団、地域防災力の充実強化の時だと思うが、どのように考えておられるか。

**答** 今のところ津奈木町は非常に消防団活動は活発であると思っっている。また、町は役場機動隊があり、いつでも出動できる状態にある。

# 人口減少に歯止めをかける ための施策は



野島正行議員

**問** 本町においては人口が約五千人となり、何とかこの人口減少を止めなければならぬと思うが、町長はどういう策をやるうと思っておられるのか。

**答** 人口減少を止めるための一つの施策として、農林漁業の活性化や、その販売を含めた就職場所の確保、南九州西回り自動車道を利用した域外への就労の拡大や、都会から故郷へ定住希望される方々への受け皿づくりなどの中で、生活基盤である教育環境や住環境を整備し、子供を産み育てていただくための街づくりを

目指し、また子供の安心・安全のための対策として通学路の整備や犯罪防止のための街路灯の設置等を行う必要がある。そういう総合的な施策を実現するため努力が必要ではないかと思っっている。

**問** 津奈木町の人口減少をくい止める、あるいは増やすための努力が必要だと思うが、人口目標についてどう思われるか。



たくさんの子供たちの笑顔

**答** 人口減少を止める、または増やすためには、退職した方々に帰ってきていただく、あるいは若い人たちが住んで子供を産んでいただく、これが一番だと思うが、施策的には、例えば何百人も雇ってくれるような大企業が来れば別であるが、農業にしても一人当たりの耕作面積を増やすとか、所得を上げようというところであり、漁業にしても不知火海で十分な漁獲量がないという状況である。議会や住民の皆さんと一緒にこの問題に取り組んでいかなければならないと考えている。

## 平国小学校が統廃合した場合の校舎等の利用は



村上義廣議員

**問** 現在平国小学校は災害時の避難場所になっている。最近統廃合の問題が出てきているが、もし統廃合した場合、閉校後の活用法など考えておられるのか。また現在年一回学校の除草作業を行っている。小学校の保護者だけでは人数が少ない為、校区内の住民が二班に分かれ除草作業を行っているが、今後はどうなるのか。

**答** 耐震工事も施して教室など十分使えるので、体育館、プール、運動場を含め地区の皆さん方に色々な使用目的で使って頂きたい。教室については、例えばリフォームして町営住宅などに出来ないかとか、一人暮らしの老人が多くなってきたので、周りには畑などあるので元気なお年寄りが、グループホームみたいな集団居住地などにも利用できるのではないかと想像している。除草作業については、町が管理を行っていく予定である。

**問** 現在旧赤崎小学校は立ち入り禁止であると思うが、最近写真か何か撮られていたと聞いたが御存じか、また、先日、潮が引いていた時、潮干狩りをしていたのではないかと思うが、十数名の方が校舎下におられた。その時地震が起こったら壁など剥がれ落ち災害の恐れがあると思うが、その管理について伺いたい。

**答** 平成二十二年四月から三階建ての校舎は立ち入り禁止で、一階建ての校舎も劣化が激しく昨年より全面立ち入り禁止である。撮影については、ある大学の方が調査研究の為に立ち入らせてほしいと要望があり撮影が行われた。海岸の方は樋が非常に危なくなっている為、樋を全部撤去する事になっている。その他は確認をしながら危ないところがあれば対応していきたい。

## 「まち・ひと・しごと地方創生」にどう取り組むのか



川野雄一議員

**問** 政府において、人口減少克服、地方創生の推進に向けて「まち・ひと・しごと創生本部」が設置されている。市町村に対しては、当該区域の実情に応じた施策について、基本的な計画となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めるよう義務付けられている。「地方創生総合戦略」に取り組む町の基本的な考え方は。

医療費抑制等を図る観点からも町の老人クラブ連合会への補助金を増額する考えはないか。

**答** 補助金は、活動に支障があるようなら増額を検討したい。また二十七年予算でバスの借上げ費用、社会福祉協議会事務局前のスペースに部屋を設けて老人会等に活用してもらう費用を計上する予定である。

**問** 基本的には、水俣芦北振興計画、町振興計画の着実な実施を行い、県南フードバレー構想等を活用して一次製品の加工、販売等を民間と協力して行い雇用の拡大所得向上を図る。町単独事業では、公営住宅の建設、光ファイバーの導入等を考えている。

**問** 河川の防災対策として、河床に草木が生えたり、土砂が堆積して危険であるので撤去を要望していたが、どうなっているのか。

**答** 実施状況は、県管理の河川では竹中橋から国道三号中尾橋まで除草済みである。町管理の河川については実施していないので二十七年予算で順次対応したいと考えている。

**問** 津奈木町老人クラブ連合会は、さまざまな活動を展開されているが、県等の補助金が減額された関係で役員報酬、事業費等を減額して活動されている現状である。老人会の活動を推進して、高齢者の生きがい対策、

◎九州電力川内原発再稼働について  
◎つなぎふれあい祭りについて

### その他の質問

# 総合グラウンドを今後整備 する計画は



林 賢二議員

**問** 現在、総合グラウンドでは、小中学生の野球部が練習や試合などを行っており、また町民体育祭でも男子ソフトボール、盆野球が行われているが、応援する際に観覧席がなく、応援しづらい状況である。Aコート、バックネットの裏の方でも、コンパクトなものでもいいので、観覧席を作っていただきたいと思うがどう考えられるか。

に変わるような利用ができないか、検討課題としたいと思っている。

**問** 総合グラウンドは、ふれあい祭りの会場付近は排水が悪く、雨が降るとぬかるんだ状況である。再度排水工事をされる計画はないか。

**答** 確かに、前回の施工はトラック中心で、ふれあい祭り会場を含め、末端部分は排水管が入っていない状況である。ふれあい祭りは町の大きなイベントであり、また町民体育祭の男子ソフトボールも四面使用するので、この排水工事については前向きに計画したいと考えている。

**答** 総合グラウンドは、現在様々なスポーツ種目が利用しており、一つの種目のみに利用する固定施設より幅広く利用できることで、柔軟性を保つことができるのではないかと考えている。仮に応援席をバックネット裏側に設置した場合、周りが狭いために、運営スタッフの通行等に支障が出ると考える。確かにAコートの一塁側は、倉庫等で見えにくい状況である。そのことを加味してどういうふうな格好にするのか、例えば移動が簡単な軽量なベンチを配備して観覧席



雨天時のふれあい祭り会場

# 原発事故発生時の避難者受 入れと、町民の避難計画は



橋口知恵子議員

**問** 国は、川内原発の近隣自治体に対して、避難者の受け入れ計画を作成するように指示している。本町には、阿久根市から避難者受け入れを要請されているが、人数は何名か。また、受け入れ先の施設名と、人数はどれくらいか。

津奈木町は川内原発から五十キロの距離であるが、原発で事故が起これば、風速二メートルで風下の場合、放射能は七時間で水俣・津奈木に流れてくるので、避難する必要があると思う。町民自身の避難計画はどのようなになっているのか。

**答** 避難施設と人数は、つなぎ文化センター四三二人、B&G体育館四七〇人、改善センター三〇五人で、計二二〇七人である。阿久根市からの避難予定者は、一〇二二人なので、収容できる人数だと思われる。避難計画は、一応一〇キロから三〇キロ未満はUPZ（緊急時防護措置準備区域）、三〇キロから五〇キロ未満はPPA（ブルーム通過時被爆防護措置実施地域）となっている。PPA地

域では、放射能を含むブルームが通過するときには屋内避難であり、町外への移動は考えておらず、避難計画も作っていない。また、事故が発生したらサッシなどで気密性のある家に屋内退避してもらい、そういう家がないところはピックアップしておく必要があると思う。

**問** 大学奨学金の貸付の内容について、内訳、金額、返済期間、条件などと、返済期間が来ても返済が困難な方がおられるので、返済期間の延長、免税の制度の見直しはできないか。

**答** 大学奨学金の内訳と金額は、一人当たり月額三万円以内と入学準備金五十万円以内である。返済期間は、「最終学校を卒業した月の六月後から二〇年以内」、その金額を年賦・半年賦・月賦により返済することになっている。条件もそれぞれ規定がある。しかし、条件の面から、返済に困っている人は相談に来てもらうことで最善の対処ができると思われる。

# 「すぐやる課」による迅速な対応

沖縄県石垣市

教育住民常任委員会の委員四名は、十月二十八日から三十一日まで、沖縄県石垣市及び嘉手納町で研修を行いました。石垣市の「施設管理・すぐやる課」に出向き、実際の取り組みや実施しての改善状況を生の声として聴きたく、また津奈木町で施策として行うことはできないものかと考えて視察研修を実施しました。

の考えから、平成二十二年六月一日に「すぐやる課」を設置されて、相談業務を開始されています。課の職員配置は、課長一名、補佐一名、他職員一〇名、非常勤三十一名となっていました。

## 「施設管理・すぐやる課」を設置した理由

市民の皆さんから寄せられた相談や意見等について、「どこの課に相談したらいいかわからない」、「電話してもたらい回しにされる」といった不満を持っている方々がおられたそうです。本町にも当てはまる点があります。このような「お役所仕事」と呼ばれる行政の体質を改善し、市民目線で民間の感覚を持った「迅速・的確な」仕事を行う市役所を目指す第一歩として、気軽に相談しやすい身近な窓口が必要であると



石垣市役所前にて

## 具体的な業務内容・受付

「市政に係る要望等の迅速な対応及び連絡調整に関すること」

- ①電話または「施設管理・すぐやる課」窓口で市民の方から相談を受付
- ・相談の内容、現場の様子など

を詳しく聞く。

- ・相談内容により現場確認や、緊急対応が必要な場合、現場へ出動し緊急処置、写真撮影等を行う。
- ②受付票の作成

・詳しい状況を書き記した受付票を作成し、速やかに対応をする担当部署へ連絡し、相談を引き継ぐ。

- ③相談者への回答

・担当部署における処理内容、対応時間、問題解決に時間を要する場合は、その理由など報告を受け、相談者へ「施設管理・すぐやる課」より、三〜七日以内にできないの報告を行う。

## 設置後寄せられた主な相談

平成二十二年六月〜平成二十六年九月末までの総相談件数は二〇三七件で、相談内容は幅広く、道路整備、放置自転車の撤去、ごみに関する環境整備など多くの相談が寄せられています。設置当初からすると、受付件数が減っており、「すぐやる課」の業務が各担当課への「つなぎ役」となることが周知され、相談、要望等を直接担当部署へ行うようになってきたことが要因と考えられます。今後は、すぐやる課の維持体制を含めて話がされているとのこと。「当初の設置目的は解決されたのではないか」「職員の意識向上には必要では

ないか」等々。今後、全職員・全課が「すぐやる課」のような意識を持つようになれば、「すぐやる課」は必要でなっていくのではないかとのことでした。

## 研修を終えて

津奈木町でも、「どこの課に行けばいいのかわからない」、「言ってもなかなかしてくれない」、「どうなるのかの返事がない」など町民の不満の声を聞きます。今回の研修で良かったことは、窓口が一ヶ所で受付票によつて相談者への回答が報告されることが町民の不満の解決につながると思いました。

津奈木町でも、施策として取り入れる必要があると考えられるため、委員会として町長へ要望しようと思えます。



すぐやる課の担当者より説明を受ける

## B&G体育館が リニューアルオープンしました

B&G体育館のリニューアル記念式典が開催されました。  
観覧席が新設され、トイレや更衣室もきれいになりました。



# 歳時記 シヨット

## 総務大臣より

### 感謝状の贈呈

吉野 一議員に、十月十七日、総務大臣より感謝状が贈呈されました。  
これは、町村議会議員として三十五年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功績があつたと認められる議員に対して贈られるものです。



感謝状を贈呈された吉野 一議員

# 議会の うごき

## 【12月】

- 11日 議会運営委員会
- 18日～19日 第4回津奈木町議会定例会
- 24日 教育住民常任委員会
- 25日 総務振興常任委員会

## 【1月】

- 21日 教育住民常任委員会
- 22日 総務振興常任委員会

## 【2月】

- 17日 教育住民常任委員会
- 19日 総務振興常任委員会
- 25日 議会運営委員会

## 【3月予定】

- 4日～20日 第1回津奈木町議会定例会

## 4月は統一地方選挙が行われます

### 県議会議員選挙

告示日 4月 3日(金)

投票日 4月12日(日)

### 津奈木町議会議員選挙

告示日 4月21日(火)

投票日 4月26日(日)

## 編集後記

羊のような温厚で穏やかな年であるよう願っていたが、年初めより痛ましいニュースが報じられました。過激派による中東紛争や、昨年から続く若年層の殺伐たる犯罪が相次いでいます。行き場を見失った若者が予想以上にあふれ、社会問題となっています。彼らの非行を未然に防ぐ取り組みが急がれます。

一方政治に目を向けると、政権の目玉の一つである人口減の抑制と雇用促進を主眼とした地方創生対策が始動しました。人口減などは一気に解決に向かうとは思いませんが、議員、役場職員が連携して議論を深めていきたいと思っています。本町には風光明媚な自然や温泉、物産館をはじめ品質の高い農産物等の好素材があります。これを地方創生に有効利用できるかが不可欠な要素ではないかと思っています。

## 表紙の写真

鬼は外！ 福は内！  
津奈木幼稚園での節分の豆まきのひとコマ。みんなに福がいっぱいきたらいいですね。

## 議会広報委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 上村 幸一 |
| 副委員長 | 川野 雄一 |
| 委員   | 柳迫 好則 |
| ” ”  | 橋口知恵子 |
| ” ”  | 久村 昌司 |